

震災子ども支援室は、ある個人の年1200万円10年間の寄附を原資とし、その他多くの方々の寄附をいただいて活動しています。

## 東北大学大学院教育学研究科



# 震災子ども支援室

# “S-チル”

S-チルのSとは…<sup>さん しんさい そうだん</sup>3月の震災後の相談のSから始まり、子どもたちの<sup>すこ</sup>健やかな<sup>せいちょう しあわ</sup>成長と<sup>ささ</sup>幸せを支えることを目指すS、チルはチルドレンです。

### 継続相談が可能です



子ども・保護者ともにお話ができます。

- 学校のこと ● お友達のこと
- 進路のこと ● 家族のこと など



わからないこと・困ったことがあったら、相談できます。

- お子さんの発達に関する相談
- 保護者ご自身のことに関する相談
- 家族関係に関する相談 など



親族里親サロンを行っています。



お子さんに関わっている方々に向けた研修会や、シンポジウムを開催しています。

- 教職員 ● 施設職員 ● 里親 など



必要な支援サービスの情報を提供しています。

お問い合わせ

相談料・通話料無料 〈家の電話、公衆電話、携帯電話からもかけられます。〉



0120-37-6241

みんなむつまじい

【受付時間】月曜～金曜  
午前9時～午後5時



<https://www2.sed.tohoku.ac.jp/~s-children/>

震災子ども支援室  
閉室のお知らせ

2021年3月末日をもちまして、震災子ども支援室“S-チル”は閉室いたします。電話相談は、2020年12月25日(金)まで受付していますので、これまで通りご利用ください。

## “S-チル”には、こういう声が寄せられています。

震災のことを言うと、  
ひかれる感じがする…

もう一度パパに会いたい。  
でも、そのことをママに話したら、  
心配かけちゃうかな…

進路を考えている時に  
地元を離れていいのか迷う

今でも、  
震災のことを話しても  
いいですか？

寒い時期になると、  
震災を思い出して  
辛くなるわ。

最近、子どもが  
震災の話をするんだけど、  
どうしてなんだろう…？  
どうして今なのかしら

孫が大きくなるまでは、  
自分が元気で  
いなきゃと思うけど…。

東北大学では、東日本大震災で親を亡くされた子ども達、  
大切な人や物をなくされた子ども達の成長の道のりを、  
長期的に支援していきます。

お問  
い合  
わせ

東北大学大学院教育学研究科

震災子ども支援室“S-チル”

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 TEL&FAX: 022-795-3263  
E-mail: s.children@sed.tohoku.ac.jp

相談料・通話料無料  
フリーダイヤル



みんなむつまじい  
0120-37-6241

【受付時間】月曜～金曜  
午前9時～午後5時

<https://www2.sed.tohoku.ac.jp/~s-children/>

